

S/N unknown

PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Masao NAKAGAWA Serial No.: unknown
Filed: concurrent herewith Docket No.: 13425.11US01
Title: ORDER MADE SYSTEM

CERTIFICATE UNDER 37 CFR 1.10

'Express Mail' mailing label number: EL815521441US

Date of Deposit: 10 May 2001

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service 'Express Mail Post Office To Addressee' service under 37 CFR 1.10 on the date indicated above and is addressed to the Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231.

By:

Name: Yolanda Gray

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT(S)

Box Patents Application
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Applicants enclose herewith one certified copy of a Japanese application, Serial No. 2000-338746, filed 7 November 2000, the right of priority of which is claimed under 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

MERCHANT & GOULD P.C.
P.O. Box 2903
Minneapolis, Minnesota 55402-0903
(612) 332-5300

Dated: 10 May 2001

By Curtis B. Hamre
Curtis B. Hamre
Reg. No. 29,165

CBH:hjh

JC978 U.S. PTO
09/852374
05/10/01

13125-11111

日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

#3
m
\$15

JC976 U.S. PRO
09/852374
05/10/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年11月 7日

出願番号

Application Number:

特願2000-338746

出願人

Applicant(s):

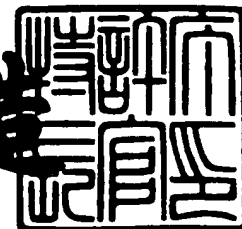
中川株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年12月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3101763

【書類名】 特許願

【整理番号】 1107MIHON1

【提出日】 平成12年11月 7日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G09F 5/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都台東区浅草二丁目 2 番地 1 2 号
 中川株式会社内

 【氏名】 中川 雅雄

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都台東区浅草二丁目 2 番地 1 2 号

 【氏名又は名称】 中川株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100064414

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 磯野 道造

 【電話番号】 03-5211-2488

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 015392

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オーダーメイドシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子商取引において、受注手段と、受注内容確認手段と、受注した仕様データに基づいた画像データでなる意匠見本を制作する意匠見本制作手段と、その意匠見本を発注者に送信する意匠見本送信手段と、前記意匠見本に基づく受注契約の諾否を確認する手段を備えたことを特徴とするオーダーメイドシステム。

【請求項 2】 特殊仕様の有無又はその特殊仕様の内容及び又は、特定紋様及び又は、寸法及び又は、色及び又は、柄及び又は、商品名をホームページの画面上で指定できる前記受注内容確認手段と、既成又は新規な特殊仕様及び特定紋様の仕様データを検索自在に格納するデータベースと、そのデータベースから引用した仕様データをコンピュータグラフィックによる半完成の雛型画像に重ねる画像合成処理手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 3】 前記意匠見本を主体とする製造命令形式を有する製造手配手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 4】 お祭り若しくは各種イベントのための演出用品に対応することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のうちのいずれか 1 項に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 5】 対象となる製品に家紋を記入することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のうちのいずれか 1 項に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 6】 対象となる製品に江戸文字を記入することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のうちのいずれか 1 項に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 7】 インターネットにアクセスできる携帯端末を利用可能な情報通信システムにおいて、当該携帯端末に設けられた表示用画面に表示する背景の意匠に対する意匠創作の注文を受け付ける受注手段と、当該注文に応じて創作された創作意匠の画像データを顧客が前記携帯端末にダウンロードすることにより前

記画像データに関する意匠創作手数料、又は既成のデザインを配信する手数料を課金する課金手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のオーダーメイドシステム。

【請求項 8】 顧客の希望する絵柄及び又は文字を記入して千社札の趣を添えた意匠を提供する千社札風の画像制作手段を備えたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 又は請求項 7 のうちのいずれか 1 項に記載のオーダーメイドシステム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子商取引における、オーダーメイドシステムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来の電子商取引においては、既成品の通信販売の域を越えておらず、単にカタログ等の郵送が省略され、発注とそれに対応する諾否の応答時間が短縮され、課金手段が変化しただけに過ぎなかった。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、オーダーメイドを前提とした電子商取引の場合、以下のような問題点があった。

先ず第一に、顧客の要求仕様を特定することが困難であり、そのために商談が成立しないかあるいはトラブルの原因にもなる。

第二にオーダーメイドに伴う、キャンセルの危険負担が大きく、顧客か事業者か何れの側の責めに帰すべき事由であるかを、客観的には判定が困難であり、大抵の場合は事業者側の危険負担となることが多かった。

【 0 0 0 4 】

従って、オーダーメイドは一般常識的には高級な商取引であり、店舗があって店員がいて、顧客との信頼関係の前提条件が不可欠であった。

前記信頼関係には以下の要件を含んでいた。

第一に、顧客の要求仕様の完全な承諾による、商談の成立。

第二にオーダーメイドに対応して制作されたあつらえ品の、キャンセルがあれば当該あつらえ品の転売換金処分が困難であることを、顧客側にも周知徹底させること。

【 0 0 0 5 】

もし、キャンセルが発生した場合には、顧客か事業者か何れの側の責めに帰すべき事由であるかを客観的に判定し、落ち度のある側は損害賠償請求を受け、それに応じる民法上の義務を負うことになる。

要するに、事業者側には逃げられない店舗と、失いたくない社会的信用が有り、顧客側も同様に失いたくない社会的信用や損害賠償責任などがあり、これらの相乗効果が絶妙にバランスしながら、前記オーダーメイドが成り立っている。

本発明は、通信販売の手軽さと広域対応、さらに電子商取引の迅速さを生かしながら、少ない危険負担でオーダーメイドを成立させることを目的としている。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、請求項 1 に係る発明は、電子商取引において、受注手段と、受注内容確認手段と、受注した仕様データに基づいた画像データでなる意匠見本を制作する意匠見本制作手段と、その意匠見本を発注者に送信する意匠見本送信手段と、前記意匠見本に基づく受注契約の諾否を確認する手段を備えた。

【 0 0 0 7 】

このようにしたことにより、遠隔地にある顧客の要求仕様に基づいた完全な承諾による契約が成立し、その後に当該オーダーメイドの契約に対応して制作された製品の、キャンセルがあれば当該あつらえ品の転売換金処分が困難であることを、顧客側にも周知徹底させ易く、万が一キャンセルが発生した場合には、顧客か事業者か何れの側の責めに帰すべき事由であるかを客観的に判定出来るので、トラブルになり難い。

従って、通信販売の手軽さと広域対応、さらに電子商取引ならではの遠隔地対応の迅速さを生かしながら、少ない危険負担でオーダーメイドを成立させられる

【 0 0 0 8 】

又、請求項 2 に係る発明は、特殊仕様の有無又はその特殊仕様の内容及び又は、特定紋様及び又は、寸法及び又は、色及び又は、柄及び又は、商品名をホームページの画面上で指定できる前記受注内容確認手段と、既成又は新規な特殊仕様及び特定紋様の仕様データを検索自在に格納するデータベースと、そのデータベースから引用した仕様データをコンピュータグラフィックによる半完成の雛型画像に重ねる画像合成処理手段を備えた。

【 0 0 0 9 】

このようにしたことにより、特定紋様や特殊仕様の内容が余程独創的でない限りは、速やかに前記意匠見本の提示が出来る。又、独創的でも仕様が鮮明であれば、その仕様を少ない労力で前記意匠見本に具現して見せられる。

さらに、一度確立した前記意匠見本をデータベースに加えるので、同一若しくは類似の仕様に対しては瞬時に前記意匠見本を提示できるようになる。

従って、事業を継続することにより、新たなレパートリーが広がるので、オーダーメイドのさらなる発展が期待できる。

【 0 0 1 0 】

又、請求項 3 に係る発明は、前記意匠見本を主体とする製造命令形式を有する製造手配手段を備えた。

このようにしたことにより、注文に対応して、迅速、確実、正確に製造手配が出来る。

【 0 0 1 1 】

又、請求項 4 に係る発明は、お祭り若しくは各種イベントのための演出用品に対応する。

このようにしたことにより、まとまった数量の確定的な受注契約を得るのに要する手間と時間を短縮できる分だけ、短納期で高品質な製品を安価に提供できる。

従って、遠隔地で限られた期間内に突出した需要の発生する傾向の強い前記演出用品の特殊需要に対応できる。

【0012】

又、請求項5に係る発明は、対象となる製品に家紋を記入するようにした。
このようにしたことにより、伝統的趣味性を容易に満足させられる。

【0013】

又、請求項6に係る発明は、対象となる製品に江戸文字を記入するようにした。
このようにしたことにより、伝統的趣味性を容易に満足させられる。

【0014】

又、請求項7に係る発明は、インターネットにアクセスできる携帯端末を利用可能な情報通信システムにおいて、当該携帯端末に設けられた表示用画面に表示する背景の意匠に対する意匠創作の注文を受け付ける受注手段と、当該注文に応じて創作された創作意匠の画像データを顧客が前記携帯端末にダウンロードすることにより前記画像データに関する意匠創作手数料、又は既成のデザインを配信する手数料を課金する課金手段を備えた。

このことにより、前記携帯端末を利用する顧客は、前記表示用画面に自分専用で唯一無二、又は好みの前記壁紙背景意匠の設定するための、有料デザイン注文が手軽にできて、前記携帯端末の表示画面に瞬時に表示し、固定される。

【0015】

又、請求項8に係る発明は、顧客の希望する絵柄及び又は文字を記入して千社札の趣を添えた意匠を提供する千社札風の画像制作手段を備えた。

このことにより、日本の神社系統の祭りに興味のある者には、伝統的で魅力的な前記千社札の趣を添えた意匠を、前記携帯端末の表示画面に瞬時に表示し固定される。従って、当該お祭り気分の高揚に乗じて、当該意匠を販売促進できる。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、本発明のオーダーメイドシステムの実施の形態を、図面に沿って、説明する。

図1は本実施形態のオーダーメイドシステムの構成及び情報端末との接続関係を示すブロック図である。

【0017】

オーダーメイドシステム1の概要を説明する。

図1に示すように、本実施形態のオーダーメイドシステム1は、当該事業者のオーダーメイド管理サーバSVを中核とするシステムであり、顧客の情報端末Tとの間でインターネットによる、物品又はデザインの販売を行い、特に従来の電子商取引では成立し難かった「あつらえ品」の受注生産及び販売までを取り扱っている。そのために、「オーダーメイドの中川」というホームページ500を開設している（図3参照）。

顧客は情報端末Tでホームページ500にアクセスし、オーダーメイド管理サーバSVに対して必要な情報交換し、希望通りの商品仕様を瞬時若しくは短時間にイメージ設定し、コンピュータグラフィックによる意匠見本（以下、デザイン見本とも称す）を見た上で受注契約に及ぶ。

【0018】

尚、本実施形態での販売の対象品目は、主にお祭りや各種イベントの演出用品であり、例えば、日本の神社系統のお祭りに関連して需要のある、提灯、千社札（後述する）、千社札風の名前シール、携帯ストラップ、裃、鯉口シャツ（後述する）、股引き、柄股引き、腹掛け、手拭い、足袋、わらじ、扇、帯、などである。

尚、前記「千社札」及び「鯉口シャツ」を簡単に定義しておく。

「千社札」は日本の神社系統の祭りに伴って販売される「まじない札」のようなもので、一例として縦17.2cm×横5.7cmの短冊形の紙製の札であり、表面に額縁が描かれ、その額縁の内側が、赤、緑、黄色、紺色等に地色が彩色され、「浅草・仲見世」「浅草・雷門」「三社祭」「商売繁盛」「五番組・（まといの絵柄）」等の江戸文字や図柄を黒で描いたものがある。又、これを基調に他の小物へ転写したデザインもある。

又、前記鯉口シャツとは祭り神輿の担ぎ手等が着用する丸首、中袖、前ボタンの派手な柄入りで演出衣装の一種である。又、それに似て刺青を思わせる全面柄入りの「刺青シャツ」も前ボタン無しのものがある。

これらは一般市販もされているが、固有の名前や図柄及び家紋等を記入するこ

・ とにより、付加価値を高める「あつらえ品」の受注生産及び販売が、より手軽にかつ合理的にできるように、本発明で構成している。

【 0 0 1 9 】

[ハードウェア]

オーダーメイドシステムを詳細に説明する。

図 1 に示すように、オーダーメイド管理サーバ S V は、主制御装置 S V 1、記憶装置 S V 2、入出力装置 S V 3 及び通信制御装置 S V 4 などがバス S V 5 に接続される構成を有する。

【 0 0 2 0 】

主制御装置 S V 1 は、M P U (Micro Processing Unit) 及び (Random Access Memory) などから構成され、オーダーメイド管理サーバ S V を統括的に制御している。主制御装置 S V 1 には、WWWサーバプログラム、雛型選定手段、受注手段、受注契約確認手段、意匠見本制作手段、顧客管理手段、認証手段、製造手配手段、D B 管理手段等が起動している。

尚、D B はデータベースの略である。

【 0 0 2 1 】

記憶装置 S V 2 はハードディスク装置や光磁気ディスク装置等から構成されている。記憶装置 S V 2 は、顧客 D B 1 0 0、雛型 D B 2 0 0、意匠見本 D B、受注契約 D B、ホームページデータ、受注履歴 D B 3 0 0、受注候補 D B 等を検索自在に収納している。

【 0 0 2 2 】

入出力装置 S V 3 には、キーボード、マウスや表示装置などが、I / O 装置を介して接続されている。又、通信制御装置 S V 4 は、モデムや D S U (Digital Service Unit) 等から構成され、インターネットによる情報の送受信を実現する。

【 0 0 2 3 】

[プログラム]

主制御装置 S V 1 に起動している各種プログラムを説明する。

WWWサーバプログラムは、H T T P (Hyper Text Transfer Protocol) によ

・ リンターネット上のサーバや顧客（情報端末T）との間で種々の情報を授受する基盤プログラムである。

【0024】

雛型選定手段は、顧客の情報端末Tから発信される要求に基づいて注文の対象となる商品の品目を例えば提灯、足袋などと選定し、具体的かつ詳細な仕様の設定に備える。

そして、言わば子供用の塗り絵遊びの下絵の状態の雛型を提示し、顧客の指定する模様描き及び着色等を待つ。

前記仕様の設定は色や柄模様の指定のみならず、商品の形状や寸法及び特殊仕様に至るまで、その設定範囲は当該事業の範囲と一致していれば、DBの充実により、如何様にも対応可能であり、この意匠見本制作手段に関しては、後述する。

又、選定された商品の雛型に着色その他の仕様が、コンピュータグラフィックにより、画像合成されてなる意匠見本の画像データを意匠見本DBから取得して、要求のあった情報端末Tにダウンロードする機能を有する（図6参照）。

【0025】

先ず受注手段は、顧客の情報端末Tからの注文を受け付けるプログラムである。その受注手段に関連して動作する、顧客管理手段、認証手段、意匠見本制作手段、受注契約確認手段及び製造手配手段のプログラムがあり、後述する夫々の動作により、オーダーメイドシステム（以下、本システムとも称す）を機能させる。

【0026】

次に顧客管理手段は、課金手段（図示せず）との関連により、代金回収の都合上、相当の厳密性を備えており、本システムに登録を済ませた顧客はID番号とパスワードによる周知の認証手段でセキュリティー管理されるが、その説明は省略する。

【0027】

そして受注契約確認手段は、前記意匠見本制作手段により、オーダーメイドの顧客の要求仕様を十分に汲み取って、その要求仕様を着色した図柄等で絵解きし

、具現した前記意匠見本及び単価、数量、納期その他の商取引要件を掲載した帳票を、顧客と事業者の間で取り交わすようにしたプログラムで構成されている。

【0028】

又、製造手配手段は、前記受注契約確認手段のプログラムにより確定した帳票の内容に修正加工を施して出票し、担当する分野の製造工房に届けるか、又はEメール伝送することにより目的を果たしている。

ここで、顧客と事業者の間で取り交わす受注契約確認書（書面に限定しないが、仮称する）に対して、価格、納期及び納品先等を若干修正し、製造指示書（書面に限定しないが、仮称する）となすプログラムがある。顧客と製造工房とでは当然に、提示する価格と納期に所定のずれを持たせてあるが、仕様及び数量はそのままである。尚、製造工房から顧客宛てに直送する際は相当の品質管理手段が講じられるが、その説明は省略する。

【0029】

DB管理手段は、各DBへのデータ登録及び既登録済みデータの更新登録を行う機能である。例えば、顧客の新規登録の際の顧客DB100へのデータの登録はこのDB管理手段を介して行われる。

【0030】

[DB]

記憶装置SV2が有するDB等を、図2を参照して説明する（適宜図1を参照）。

ここで、図2の（a）は顧客DBの論理構成図であり、（b）は雛型DBの論理構成図であり、（c）は受注履歴DBの論理構成図である。

【0031】

図2（a）に示すように、顧客DB100は、顧客コード、会社名、住所、担当者名、端末番号、Eメールアドレス、顧客ID、パスワードの項目（フィールド）を有する。顧客IDをMASAONAKAGAWA、パスワード7877X等と字数制限内で顧客に設定させるか又は、事業者側で自動発番する。

図示せぬ銀行口座自動引き落とし等に直結した、課金手段により代金決済するので、インターネット商取引の慣行に従うものとする。

又、製品送付先にも連動するが、送付先が前記住所と異なる場合の配慮等も別項目設定可能としておくことが望ましい。

要するに、図示せぬ特約事項の設定枠があれば良い。

【 0 0 3 2 】

図 2 (b) に示すように、雛型 D B の論理構成図であり、雛型コード、品名、商品番号、地色、寸法、文字柄、文字種類、家紋、特殊指定、ファイル名、単価の項目を有する。この項目は必要に応じて増減することができる。このうち品名と商品番号がカテゴリであり、地色から特殊指定までが仕様である。この雛型 D B 2 0 0 は当該事業内容に対応して設定される、言わば「オーダーメイド用の半完成の雛型画像」であり、ここで言う「半完成」を「完成品のイメージ画像」へと画像合成することにより、前記「意匠見本」となす。

【 0 0 3 3 】

又、前記画像合成の具体的手段は、例えばデザイン事務所等で用いられている、汎用的なコンピュータグラフィック機能を備えたソフトウェア、若しくはそれに類する作画機能ソフトウェアの単純特化又は発展型組合せにより、全ての意匠見本の作画を賄える。

ただし、専任のオペレータによる操作を必要とするので、顧客が本システムと対話形式での即時の商談成立には至らず、若干の操作時間を要する。

【 0 0 3 4 】

又、前記単純特化とは、情報端末 T から周知のマウスとキーボードで数回の指示をすることにより、顧客の希望するオーダーメイドの意匠見本の作画（図示せず）が完成し、即座に顧客の目で見て確認するように構成したものである（図 4 参照）。これだと、用途を限定する代わりに、顧客が本システムと対話形式で手際良く商談成立できる。この機能こそが本発明の主たる要旨である。

【 0 0 3 5 】

そして、前記発展型組合せは、自己学習機能付きオーダーメイドシステムであり、図 2 (c) に示すように、受注履歴 D B 3 0 0 を蓄積することにより、需要の傾向がつかめるので、季節ごとの生産計画や商品企画にも寄与する。

特に同一の意匠見本を指定する繰り返し注文には、即応できる。

具体的なプログラムは示さないものの、人間が顧客対応する際に、知っている顧客ならば、その顧客名称を聞いただけで瞬時に紹介すべき「お勧め商品」が思い浮かぶものであり、それと同等の「お勧め商品提案機能」をも具備できる。

【0036】

又、図2(c)の意匠見本が「承認済み」は、顧客のオーダーメイドの仕様に、事業者が提示した意匠見本が合致し承認されたことを意味し、「発信済み」は事業者が提示した意匠見本が顧客宛てに発信され、承認されるのを待っている状態を意味し、意匠見本が「仕様確認中」とあるのは顧客と事業者の間で、オーダーメイドの仕様が合意を得ていない状態を意味する。

このような場合には、オーダーメイドシステム1も事業者の助力を必要とする。

即ち人間ならではの交渉力を要求されるのは、コンピュータによる商談が成立し難い場合のみに限られるので、人間はより広範囲にわたっての営業活動もしくは独創的商品企画に専念できる。

【0037】

[ホームページ]

図1のオーダーメイドシステム1における、電子商取引の各ホームページを図3乃至図5に沿って説明する。

ここで、図3(a)は電子商取引のホームページ画面図であり、(b)は顧客登録ページの画面図である。図4は(a)はベース商品選定・注文入り口ページの画面図であり、(b)は仕様選定ページの画面図である。図5は発注確認の画面図である。

【0038】

図3(a)に示すようにホームページ500はオーダーメイドの中川という名前で開設されており、「はじめての方へのご案内」欄であり、当該電子商取引において、例えば「オーダーメイドは前金の入金確認後に製造手配し、返金は原則認められない」等の一通りの売買契約条件等が記載され、この画面中で「同意する」ボタンを顧客がマウスクリックすることにより、オーダーメイドシステム1との商談開始に至る。

又、「同意しない」とあれば、適当な検索エンジン等のホームページにリンク設定されているので、ホームページ500から離脱できる。

【0039】

「顧客IDをお持ちの方」欄は、顧客IDを既に持っている顧客が、顧客IDとパスワードを入力し、「認証」ボタンをマウスクリックすることにより、図4(a)(b)へ至り、オーダーメイドシステム1との商談開始に至る。前記「はじめての方へのご案内」欄から新規参入した顧客と違って、その信頼関係の程度に応じた取引形態、例えば後払い等の優遇がなされ、その区別は顧客DB100により管理され、通常の商取引における判断基準が適用されるべく、各種取引条件等が記憶され、更新も自在である(図示せず)。

【0040】

又、図3(b)には、所定の顧客登録情報を入力する。特に説明を必要としないが、図示しない課金手段とも関連するので、セキュリティー保全を講ずる。所定事項を顧客が入力完了したら、「送信」をマウスクリックすることにより、図4(a)に進み、「戻る」をマウスクリックすれば、図3(a)ホームページ500へ戻る。はじめての顧客でなくとも、顧客登録情報を更新入力する手続き等にも用いる画面であり、その具体的詳細は省略する。

【0041】

図4は(a)には、ベース商品選定・注文入り口ページ520の示すように、

1. 新たにベース商品を選定する。
2. 過去に注文した商品を再注文する。
3. 前回ダウンロードを行った商品を注文する。

の見出しから構成され、これらは相当するページへとリンク設定されており、例えば1番の見出しにマウスクリックすれば、図示しないベース商品選択画面により選択する。

具体的には、事業内容に即した商品群の選択肢を提示した画面上で、例えば1. 「提灯」、2. 「千社札」、3. 「粹天」、4. 「鯉口シャツ」、5. 「股引き」、6. 「柄股引き」、7. 「腹掛け」、8. 「手拭い」、9. 「足袋」、10. 「わらじ」、11. 「名前シール」、12. 「携帯ストラップ」などの区別

を顧客が選択する。

【0042】

次に、図4（b）の仕様選定ページ530に至り、顧客は仕様選定フォームに沿って、希望する商品仕様を確定する。

尚、ここで「ベース商品を選定する」とは、前記した「塗り絵遊びの下絵の状態の雛型を提示し、顧客の指定する模様描き及び着色等を待つ」という状態にする準備段階を意味する。

そして、前記1.「提灯」が選択されたとすれば、図4（b）の「仕様選定フォーム」では、（1）提灯種類を「小田原」と選択し、

（2）点灯方式を「電池式」と選択し、

（3）地色を「白」と選択し、

（4）寸法を「実寸」と選択し、

（5）文字種別を「江戸文字と家紋」と選択し、

（6）文字柄色を「黒の苗字と黒の左三つ巴」と選択し、

これらの仕様のこの選択画面上で発注者たる顧客が確認し、意思決定したならば「選定」ボタンをマウスクリックする。

【0043】

次に、図4（b）画面の下方にある「デザイン仕様の確認」では「単価**円の小田原提灯が選定されました。」と表示され、顧客の希望による意匠見本（「デザイン仕様図」又は「デザイン見本」とも称す）がコンピュータグラフィックで画像合成され、「ダウンロード」ボタンをマウスクリックすることにより、鮮明なカラー画像の意匠見本が、顧客の目視確認に供される。この内容を仕様選定ページ530の一部に表示するか、別画面に切り替えるか、さらに切り替わった画面を元に戻す方法等はオーダーメイドシステム1のプログラム次第で如何様にも設定できるので、説明を省略する。

【0044】

又、前記した家紋と苗字入りの提灯は、半完成品に顧客の指定する文字柄等を記入する程度のため、雛型DB200から数種類を引用して、画像合成するのに大した時間を必要としないので、顧客はその手近にある情報端末機Tにより、遠

隔地にあり無人のオーダーメイドシステム1と対話形式で、発注内容の仕様を確認できる。

尚、「デザイン」と「意匠」を同一の意味に用いて説明しているが、顧客の目に直接触れる画面上には分かり易く「デザイン」と表記し、顧客がその意味を広義に「設計」の意味まで含めて解釈しても差し支えない。

仕様選定ページ530の左下にある発注予定ボタンをマウスクリックすることにより、顧客の心証が略固まったものとして、図5に示す発注確認ページ540へと画面が切り替わる。この時、仕様選定ページ530での顧客の意思表示内容は、図5に示す発注確認ページ540の画面に既に反映されている。

【0045】

又、図5に示す発注確認ページ540は受注内容確認手段をなすものであり、発注確認帳票、確認の開始ボタン、再計算ボタン、ご注文ボタンなどから構成されている。前記発注確認帳票は商品名、単価、個数、金額、取消、デザイン見本、合計金額などの項目を有する。これらの項目は必要に応じて増減することができる。

この発注確認帳票には既に仕様選定ページ530での顧客の意思表示内容が表示されたオーダーメイドの対象となる商品であり、その仕様設定の方法については前述した通りである。

【0046】

前記発注確認帳票の記載内容に変更若しくは取り消しが必要であれば、個数ボタン、取消ボタン、デザイン見本ボタンをマウスクリックすることにより、必要な訂正をこの画面上で行うことができる。例えば数量を1個から5個へ増加したければ、該当ボタンにカーソルを合わせて、数字の訂正する。その後、再計算ボタンを押せば、合計金額が正しく再計算されて表示される。

又、取り消したければ、取消ボタンをマウスクリックすることにより、該当する商品の行全部を抹消する。その後、再計算ボタンを押せば、合計金額が正しく再計算されて表示される。

【0047】

又、デザイン見本の項目に「レ」チェックマークが表示されている場合は、当

該商品に関しては、過去に当該顧客の購入実績があるので、既にその時点でデザイン見本による承認が済んでおり、関係する当事者が安心できることを意味し、逆に「レ」チェックマークが表示されていない場合は、当該商品が当該顧客に購入された実績が無いので、今回新規なデザイン見本による承認を前記した図4（b）仕様選定ページ530に戻るなどして再確認することが望ましい。

尚、発注確認ページ540から仕様選定ページ520等への画面切り替えはデザイン見本ボタンをマウスクリックすることにより行う他、画面切替ボタン等を別途に設けても良い。又、デザイン見本の項目に「レ」チェックマークが表示されていない場合に、如何なる確認手段を経過し、それこれを経過した後に発注できるようにするかしないかは、オーダーメイドシステム1のプログラム次第で如何様にも設定できる。

【0048】

又、通常考えられる、ケアレスミスを回避するための、ダブルアクションによる意思決定のプロセスを設けることが望ましく、本実施形態においては確認の開始ボタンをマウスクリックすることにより、前記発注確認帳票の1行目の左端の項目をハイライト状態にする等のカーソルが表示され、図示せぬキーボードのENTERキーを押して、そのカーソルが一つ右側の項目へとずれ、順次確認作業を進めて、最後は発注確認ページ540の最下行又は右下にカーソルが到達すれば、一通りの確認を完了したと見なす。

そして、ご注文ボタンをマウスクリックすることにより発注となる。

又、発注確認ページ540の下方に納品希望日及び変更後の納品場所の項目もあるが、納品希望日は顧客が発注する際に記入し、納品場所は受注履歴DB300があればそこから、それがなければ顧客DB100からのデータを引用して、とりあえず自動的に表示し、顧客が発注の都度それらを確認する。

【0049】

〔顧客の発注意思決定の手順〕

図6のフローチャートを参照して、オーダーメイドシステム1における、顧客の発注意思決定の手順を説明する。

ただし、顧客が情報端末Tを、インターネットに接続してからオーダーメイド

システム1のホームページにアクセスするまでと、発注手続きを完了した後にネットワークとの接続を切るまでの手順等は周知なので省略している。従って、図6のS12乃至S27のステップは、顧客の発注意思決定の手順のみである。

【0050】

先ず、ホームページ500にアクセスし、はじめての方へのご案内に記載された代金支払方法等（図示せず）の基本的な約束事に同意するか否かの判断を行い（S12）、同意する場合はホームページ500に設けてある同意ボタンをマウスクリックする。これによりベース商品選定・注文入り口ページ520の画面が表れて、顧客はオーダーメイドシステム1と対話形式での疑似商談が開始される。

又、顧客登録、顧客ID及びパスワードの取り扱いに関しては、周知なので省略する。

尚、同意しないボタンをマウスクリックすれば、オーダーメイドシステム1のホームページ500との接続から切れて、適当な検索エンジン画面等にリンク接続（図示せず）されて終了する。

【0051】

次に、ベース商品選定・注文入り口ページ520で、1番の見出しで新たにベース商品を選定する、とマウスクリック又はキーボードで1を選択すれば、図示しないベース商品選択画面により商品の選択する。

具体的には、前述した通りであり、事業内容に即した商品群の選択肢を提示した画面上で、例えば「提灯」又は、「足袋」などの区別を顧客が選択する。

【0052】

次に、仕様選定ページ530に至り、顧客は仕様選定フォームに沿って、希望する商品仕様を確定し（S13）、これらの仕様をこの選択画面上で発注者たる顧客が確認し、意思決定したならば「選定」ボタンをマウスクリックする（S14）。

そして、意匠見本の目視確認のためダウンロードが必要ならば（S15）、ダウンロードする（S16）。その意匠見本を顧客が検討し（S17）、希望になったものであれば（S18）、発注確認ページ540により、発注内容を画面

上で確認し（S19）、追加の有無を判断し（S20）、もし追加があれば、ベース商品選定・注文入り口ページ520又は仕様選定ページ530に戻り、顧客は仕様選定フォームに沿って、希望する商品仕様を確定し（S13）、追加する。

【0053】

ここで、発注内容に修正が必要か否かを判断し（S21）、必要なら発注確認ページ540又は仕様選定ページ530に戻り、修正か取り消し又は、再入力する（S26）。そして、受注契約書の発行が必要なら（S22）、その旨を要求する（S27）ことにより、発注確認ページ540のタイトルが「受注確認書」と一部修正され、承認済みの意匠見本を同一紙面に掲載して（図示せず）印刷可能とされた画像情報が、顧客の情報端末Tから取り出せるようにしても良い（指示ボタン等は図示せず）。ここで、当該受注確認書を印刷するか否かは、顧客の判断次第であり、オーダーメイドシステム1の事業者には何ら影響はなく、当該受注確認書の紙の印刷物の有無に拘り無く、その受注内容の確認をシステム上でを行っている。

ただし、商取引の実務上、正確な納期確認及びその日付の画面表示や書面への記載が必要とあれば、オーダーメイドシステム1の事業者の意思確認のステップ（S27に含めて図示せず）を経由しての情報通信が必須であり、受注契約の諾否を確認する手段をなしている。尚、具体的手段は自明の事項なので説明は省略する。

【0054】

前記一連の発注手順（S12）乃至（S22）を経過するうちに、発注確認ページ540が何度も表れているが、顧客の発注の構想が熟し、いよいよ意思決定となれば、当該発注確認ページ540にある「ご注文」ボタンをマウスクリックして発注する（S23）。

以上のようにして、顧客のオーダーメイドの意思表示をオーダーメイドシステム1を介して、簡単、確実かつ正確に当該事業者へと発信する。

【0055】

尚、図6に示すフローチャートにおけるステップ（S24）やステップ（S2

5) の判断により、商品仕様の選定が顧客の希望に沿わなければ、商品及び商品仕様の選定 (S 1 3) に戻って仕様決定の作業をやり直すか、又は途中で止めることができる。

しかし、十分に意匠見本の検討 (S 1 8) までして一旦発注をなした (S 2 3) 以上はオーダーメイドのキャンセルはできない旨の約束事を、ホームページ 5 0 0 に謳っておくことが望ましい。

又、錯誤による誤発注を無くすことも本発明の目的とするところである。

尚、前払い若しくは後払いによる課金手段に関しては、商取引上、不可避かつ重要な問題であるが、本発明の要旨から外れるので、その点の具体的説明は省略する。

【 0 0 5 6 】

〔顧客登録〕

図 7 のシーケンスチャートを参照して、顧客登録を行う際の動作を説明する。
尚、以下の説明における符号 S 3 1 乃至 S 4 0 は図 7 のシーケンスチャートにおける各ステップを示すものである。又、以下の説明では、適宜図 1 乃至図 6 を参照する。

【 0 0 5 7 】

先ず、顧客が手近の情報端末 T により、オーダーメイドシステム 1 の URL を入力するなどして、ホームページ 5 0 0 へのアクセス要求を行う (S 3 1) 。その要求に応じて、オーダーメイド管理サーバ S V はホームページデータを情報端末 T に送信する (S 3 2) 。これにより、ホームページ 5 0 0 が顧客の情報端末 T に表示される (S 3 3) 。

【 0 0 5 8 】

以下、ホームページ 5 0 0 の顧客登録ボタンによる、顧客登録ページ表示要求がオーダーメイド管理サーバ S V になされ (S 3 4) 、顧客登録ページ 5 1 0 のデータが情報端末 T に返信され (S 3 5) 、顧客登録ページ 5 1 0 が表示される (S 3 6) 。顧客は顧客登録情報を顧客登録フォームに沿って、会社名、住所、担当者名、端末番号及び E メールアドレスその他の備考 (図示せず) を情報端末 T に入力し、オーダーメイド管理サーバ S V に送信する (S 3 7) 。

尚、送信（S37）する以前に、途中で気が変われば、「戻る」ボタンの操作により、顧客登録ページ510からホームページ500へ戻り、その画面中の「同意しない」ボタンの操作すれば、前記のように情報端末Tはホームページ500から切り離されて終了する。

【0059】

顧客ID・パスワード生成（S38）は、オーダーメイド管理サーバSVが半自動的に採番しても良いし、顧客の自己識別符号に対する趣味的望みのある程度反映しても良い。

周知の顧客管理手段に基づき、前記顧客ID・パスワードを付与された顧客は相当の取引処遇をランク付けされ、ホームページ500の認証情報の項目に顧客がアクセスする度に入力された前記顧客ID・パスワード及び「認証ボタン」の操作により、顧客とオーダーメイド管理サーバSVは緊密な交信を許される。

又、前記顧客登録情報は顧客DB100に検索自在に登録しておき（S39）、適宜更新もなす。この顧客DB100は製品を納付する宛先及び連絡先等を記録しているので、ダイレクトメール等も随時作成することができる。

又、顧客登録通知（S40）もなした方が安心である。

【0060】

〔雛型の選定及び意匠見本データのダウンロード〕

図8のシーケンスチャートを参照して、登録済みの顧客が雛型の選定及び意匠見本データのダウンロードを行う際の動作を説明する。尚、以下の説明における符号S51乃至S67は図8のシーケンスチャートにおける各ステップを示すものである。又、以下の説明では、適宜図1乃至図6を参照する。

【0061】

まず、顧客が情報端末Tにより、ホームページ500にアクセスし、情報端末Tにはオーダーメイドシステム1が表示されており（S51）、前記顧客ID・パスワード及び「認証ボタン」の操作により、認証情報が情報端末Tからオーダーメイド管理サーバSVに送信され（S52）、オーダーメイド管理サーバSVの顧客DB100された顧客データと照合され、該当者に適合すれば認証され（S53）、以後は顧客とオーダーメイド管理サーバSVは緊密な交信を許される

【 0 0 6 2 】

そして、ベース商品選定・注文入り口ページ 5 2 0 のデータをオーダーメード管理サーバ S V から情報端末 T へ返信し (S 5 4)、ベース商品選定・注文入り口ページ 5 2 0 が情報端末 T に表示される (S 5 5)。この画面上で顧客が前にも説明した要領で、ベース商品の新規選定要求すれば (S 5 6)、カテゴリ選定ページデータをオーダーメード管理サーバ S V から情報端末 T へ返信し (S 5 7)、カテゴリ選定ページ (図示せず) を表示する (S 5 8)。

【 0 0 6 3 】

そして例えば「提灯」と顧客が指定したカテゴリ選定情報が情報端末 T からオーダーメード管理サーバ S V に送信され (S 5 9)、その「提灯」に該当する仕様選定ページ 5 3 0 のデータが返信され (S 6 0)、仕様選定ページ 5 3 0 が情報端末 T に表示される (S 6 1)。

この画面上で顧客が前にも説明した要領で、仕様選定情報を入力し、情報端末 T からオーダーメード管理サーバ S V に送信すれば (S 6 2)、例えば「実物大の小田原提灯 ¥ * * * 」等の選定回答即ち受諾通知が返信され (S 6 3)、その選定商品が、仕様選定ページ 5 3 0 の下方に表示される (S 6 4)。

【 0 0 6 4 】

ここで、顧客は仕様選定ページ 5 3 0 のダウンロードボタンの操作で、ダウンロード要求をオーダーメード管理サーバ S V に送信すれば (S 6 5)、この段階で事業者側に確立している意匠見本及び発注確認ページ 5 4 0 の内容を受注候補として記憶する (S 6 6) とともに、前記意匠見本を情報端末 T にダウンロードさせる (S 6 7)。

このようにして、顧客の望む商品仕様を、情報端末 T とオーダーメード管理サーバ S V との緊密な交信により、略対話形式で相互理解し、認識を共通にすべく前記意匠見本を情報端末 T にダウンロードさせ (S 6 7)、その意匠見本に基づく受注契約の諾否を確認する手段を備えたことが本発明の要旨である。従って、対象となる商品が何であれ、前記要旨を具備した実施形態は本発明と看做し得る。

【 0 0 6 5 】

さらに、本発明の別の実施形態として、インターネットにアクセスできる携帯端末を利用可能な情報通信システムにおいても、手軽なオーダーメイドができる。

以下に示す実施形態では、物品販売するのではなく、斬新なデザインを、利用中の携帯端末からその表示画面の背景壁紙（紙ではなく、液晶画面の文字等に対する背景を通称している）用にオーダーメイドする。

当該携帯端末に設けられた表示用画面に表示する背景の意匠に対する意匠創作の注文を受け付ける受注手段としては、前述した提灯等の現物に対する仕様選定ページ 5 3 0 を大幅に簡略化したもので十分であるので、説明を省略する。

【 0 0 6 6 】

例えば、「千社札に「浅草・中屋」の江戸文字記入する」旨の注文に応じて、創作又はデータベースから引用された意匠の画像データを、顧客が前記携帯端末にダウンロードすることにより、瞬時に希望する画像が前記表示用画面に表示されるように構成する。

そして、そのダウンロードする行為に対応して、前記画像データに関する意匠創作手数料若しくは、既成のデザインに対するデザイン配信料を課金する課金手段を備えた。

又、前記課金手段に関しては、例えば周知の N T T ドコモの代金決済手段を用いる。

尚、顧客が前記画像データをダウンロードしては見たものの、自分の希望するイメージに合っていない、などといった場合の委細対応の手段に関しては、前述した比較的高額の物品販売の場合とは異なり、簡略な対応でも問題は少ない。むしろ面白さを手軽に売る感覚を重視した設定に構成されている。

【 0 0 6 7 】

又、顧客の希望する絵柄及び又は文字を記入して、前記千社札の趣を添えた意匠を提供する千社札風の画像制作手段は、既に前記千社札や名前シールの現物をオーダーメイド販売できる構成があれば、その現物を製造する一歩手前のデザイン仕様図の画像データのみを販売する構成であり、なんら実施に困難性は無い。

このことにより、日本の神社系統の祭りに興味のある者には伝統的で魅力的な千社札の趣を添えた意匠を、当該お祭り気分の高揚に乗じて販売促進できる。

【 0 0 6 8 】

【発明の効果】

請求項 1 に係る発明によれば、通信販売の手軽さと広域対応、さらに電子商取引ならではの遠隔地対応の迅速さを生かしながら、少ない危険負担でオーダーメードを成立させられる。

【 0 0 6 9 】

又、請求項 2 に係る発明によれば、特定紋様や特殊仕様の内容が余程独創的でない限りは、速やかに前記意匠見本の提示が出来る。

又、独創的であっても仕様が鮮明であれば、その仕様を少ない労力で前記意匠見本に具現して見せられる。

さらに、一度確立した前記意匠見本をデータベースに加えるので、同一若しくは類似の仕様に対しては瞬時に前記意匠見本を提示できるようになる。

従って、当該事業を継続することにより、新たなレパートリーが広がるので、オーダーメードのさらなる発展が期待できる。

【 0 0 7 0 】

又、請求項 3 に係る発明によれば、注文に対応して、迅速、確実、正確に製造手配が出来る。

【 0 0 7 1 】

又、請求項 4 に係る発明によれば、まとまった数量の確定的な受注契約を得るのに要する手間と時間を短縮できる分だけ、短納期で高品質な製品を安価に提供できる。

従って、遠隔地で限られた期間内に突出した需要の発生する傾向の強い前記演出用品の特殊需要に対応できる。

【 0 0 7 2 】

又、請求項 5 及び請求項 6 に係る発明によれば、伝統的趣味性を容易に満足させられる。

【 0 0 7 3 】

又、請求項 7 に係る発明によれば、前記携帯端末を利用する顧客は、その携帯端末の表示用画面に自分専用で唯一無二、又は好みの前記壁紙背景意匠の設定するための有料デザイン注文が手軽にできて、前記携帯端末の表示画面に瞬時に表示し固定されるように対応される。

【 0 0 7 4 】

又、請求項 8 に係る発明によれば、日本の神社系統の祭りに興味のある者にとって、伝統的で魅力的な前記千社札の趣を添えた意匠を、前記携帯端末の表示画面に瞬時に表示し固定される。従って、当該お祭り気分の高揚に乗じて、当該意匠を販売促進できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本実施形態のオーダーメイドシステムの構成及び情報端末との接続関係を示すブロック図である。

【図 2】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、(a) は顧客 DB の論理構成図であり、(b) は雛型 DB の論理構成図であり、(c) は受注履歴 DB の論理構成図である。

【図 3】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、電子商取引のホームページ画面図であり、(b) は顧客登録ページの画面図である。

【図 4】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、(a) はベース商品選定・注文入り口ページの画面図であり、(b) は仕様選定ページの画面図である。

【図 5】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、発注確認の画面図である。

【図 6】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、発注のフローチャートである。

【図 7】図 1 のオーダーメイドシステムに、顧客登録する際のシーケンスチャートである。

【図 8】図 1 のオーダーメイドシステムにおける、登録済みの顧客が雛型の選定及び意匠見本データのダウンロードを行う際のシーケンスチャートである。

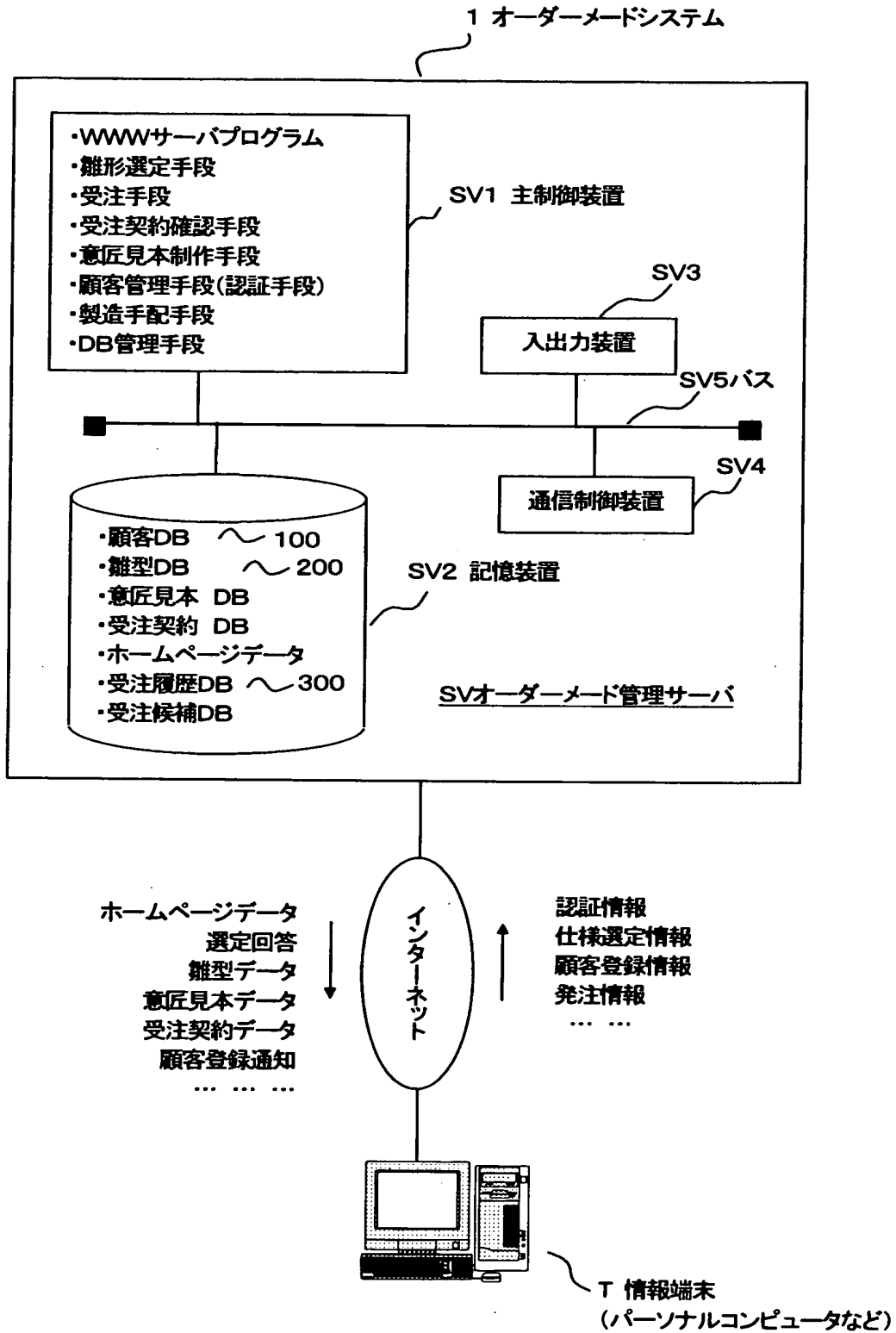
【符号の説明】

- 1 … オーダーメイドシステム
- 5 4 0 … 発注確認ページ（受注内容確認手段）

・ S 2 7 … 受注契約書要求ステップ（受注契約の諾否を確認する手段）

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

(a) 顧客DBの論理構成図

顧客DB 100

顧客コード	会社名	住所	担当者名	電話番号	eメールアドレス	顧客ID	パスワード
0001	***	東京都品川区**	〇〇△△	03-5***-****	***@**.*jp	XXX**Y3F	4r9**
0002	***	***	***	***	***	***	***
...

(b) 雛型DBの論理構成図

雛型DB 200

雛型コード	品名	商品番号	地色	寸法 (cm)	文字柄 色	文字種別	家紋	特殊 指定	ファイル名	単価 (円)
RNYM***1	お祭り足袋	60800	白	26.0	-	-	-	-	17L DXF	1,950
***	弓張り提灯	24400	白	実物大	黒	江戸文字	左三つ巴	電池式	45L DXF	8,950
...

カテゴリー

仕様

(c) 受注履歴DBの論理構成図 (受注候補DBを兼ねる)

受注履歴DB 300

顧客コード	受注日	受注番号	雛型コード	単価(円)	注文数量	意匠見本	ファイル名	製品出荷日
00001	00/06/30	7150	CNH..	***	**	承諾済み	24r65PDF	00/07/20
	00/07/18	7200	CHN..	***	**	承諾済み	24r66PDF	00/09/25
	00/07/18	7300	RNY..	***	**	承諾済み	64r38PDF	00/**/28
	00/08/17	7400	CVN..	***	**	承諾済み	789xyPDF	00/**/25
	00/09/12	7500	CNH..	***	-	発注済み	79p56PDF	-
	00/09/12	7600	RNY..	仕様確認中	64r38PDF	...

受注履歴データ

受注候補データ

【図 3】

(a) 電子商取引のホームページの画面図

500 ホームページ

オーダーメイドの中川

はじめての方へのご案内

.....

同意する 同意しない

顧客IDをお持ちの方

顧客ID :

パスワード :

認証情報

顧客登録 認証 戻る

(b) 顧客登録ページの画面図

510 顧客登録ページ

顧客登録ページ

顧客登録は、下の顧客登録フォームをご利用下さい。

会社名 :

住所 :

担当者名 :

電話番号 :

Eメールアドレス :

顧客登録情報

送信 戻る

【図 4】

(a) ベース商品選定・注文入りロページの画面図

520 ベース商品選定・注文入りロページ

ベース商品選定・注文入りロページ

1. 新たにベース商品を選定する
2. 過去に注文した商品を再注文する(注文履歴を見る)
3. 前回ダウンロードを行った商品を注文する

(b) 仕様選定ページの画面図

530 仕様選定ページ

仕様選定フォーム

順番に全てのオプションを選択し、「選定」ボタンを押すと価格が表示されます。

(1) 提灯種類 ☐ 弓張り ☐ 小田原

(2) 点灯方式 ☐ 電池 ☐ ろうそく

(3) 地色 ☐ 白 ☐ 赤

(4) 寸法 ☐ 特大 ☐ 実寸 ☐ ミニチュア

(5) 文字種別 選択して下さい ▽

(6) 文字柄色 選択して下さい ▽

選 定

デザイン仕様の確認

次の商品が選定されました。

実物大の小田原提灯

単価 ¥****

ダウンロード

発注予定
クリア
戻る

【図 5】

発注確認の画面図

540 発注確認ページ

発注確認

個数欄に注文したい商品の個数を入力して「再計算ボタン」を押してください。

No.	商品名	単価(円)	個数	金額	取消	デザイン見本 (承認済)
1	お祭り足袋 ・白 60800 26.0cm	1,950	<input style="width: 30px;" type="text" value="1"/>	¥***	<input type="button" value="取消"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	弓張提灯 ・白 ・実物大 ・電池式点灯 24400 江戸文字 ・左三つ巴家紋入り	8,950	<input style="width: 30px;" type="text" value="1"/>	¥****	<input type="button" value="取消"/>	<input type="checkbox"/>
			合計	¥****		

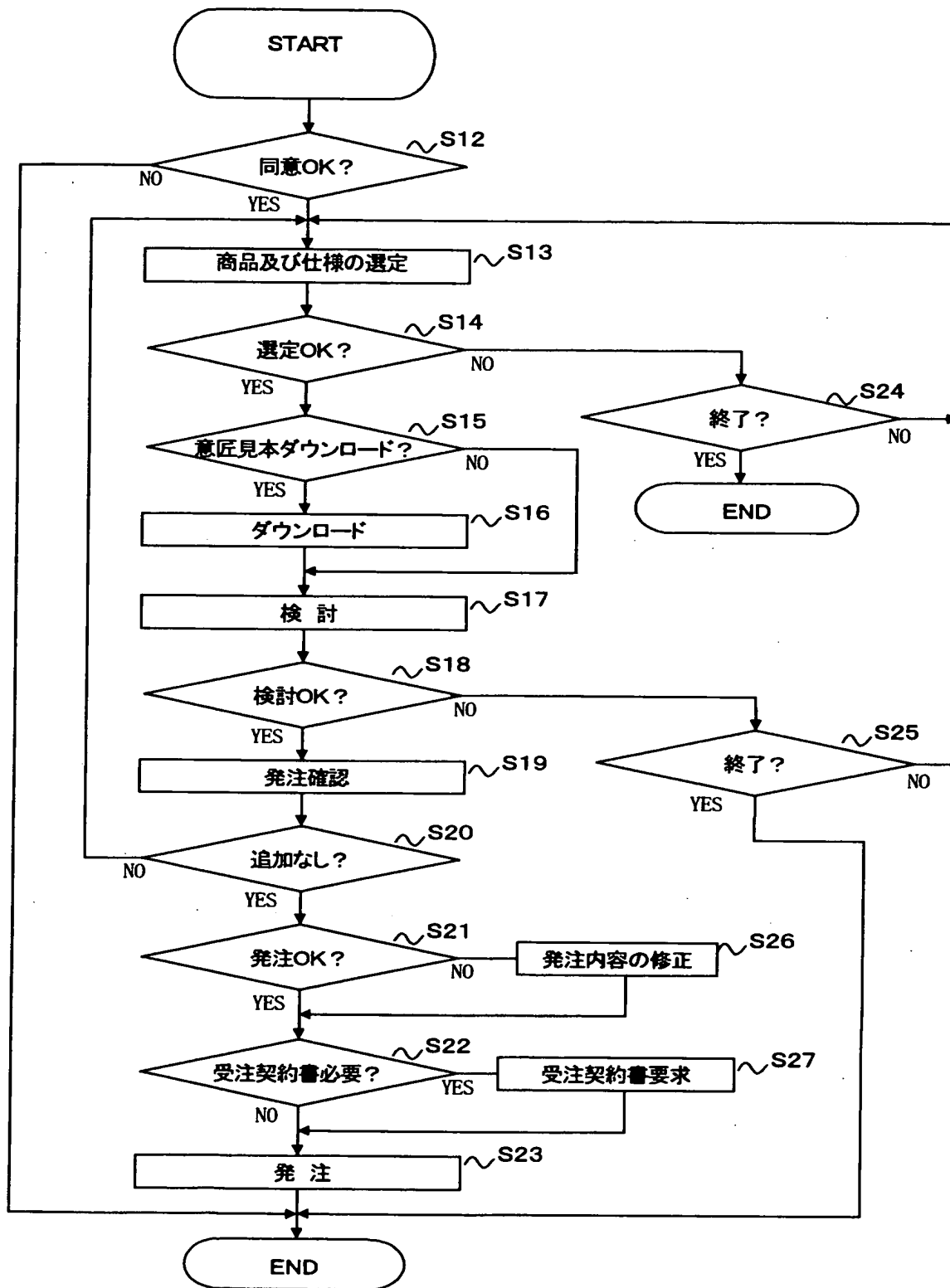
今回のご注文について納品希望日を記入して下さい(00/09/30以降で指定)

納品希望日

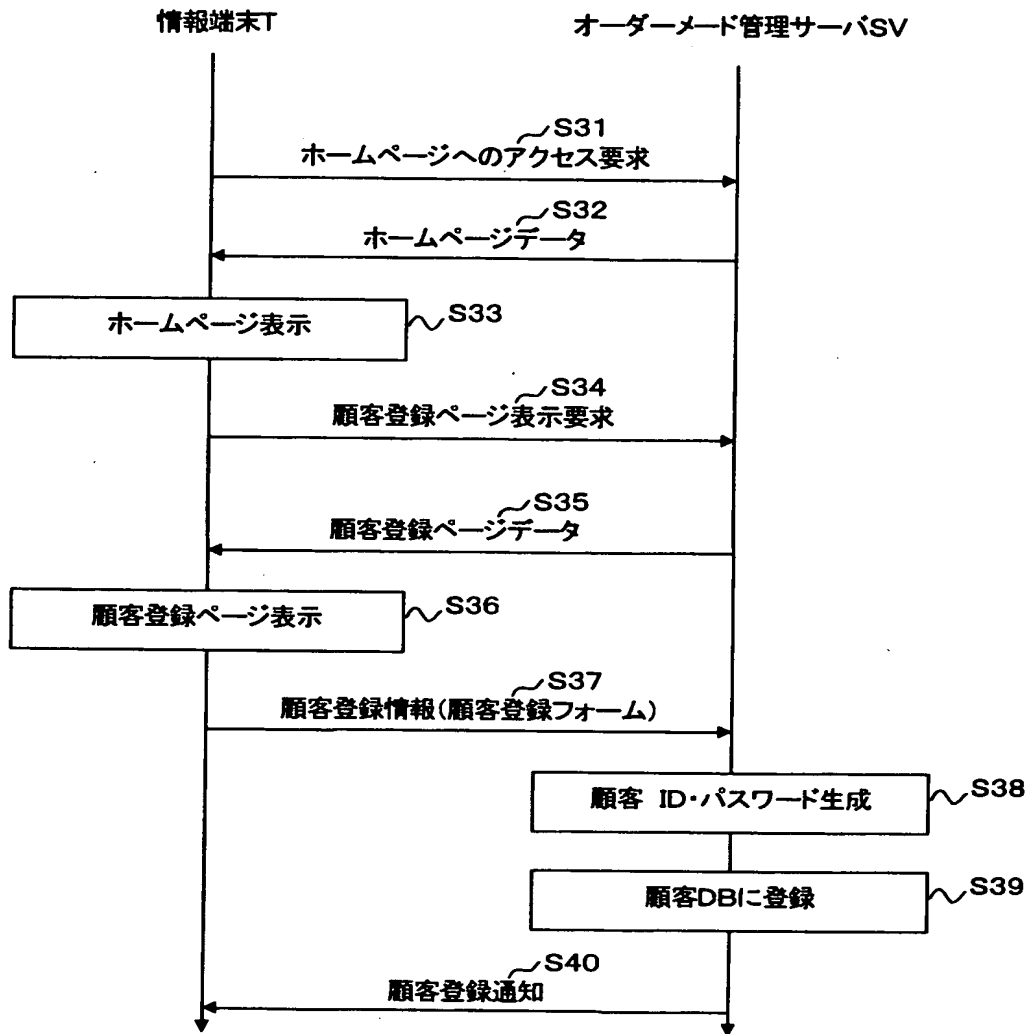
今回のご注文について納品場所に変更はありますか？(変更がある場合のみ記入)

変更後の 納品場所	〒	<input style="width: 90%;" type="text"/>
	場所	<input style="width: 90%;" type="text"/>
	電話	<input style="width: 90%;" type="text"/>
	ご担当者	<input style="width: 90%;" type="text"/>

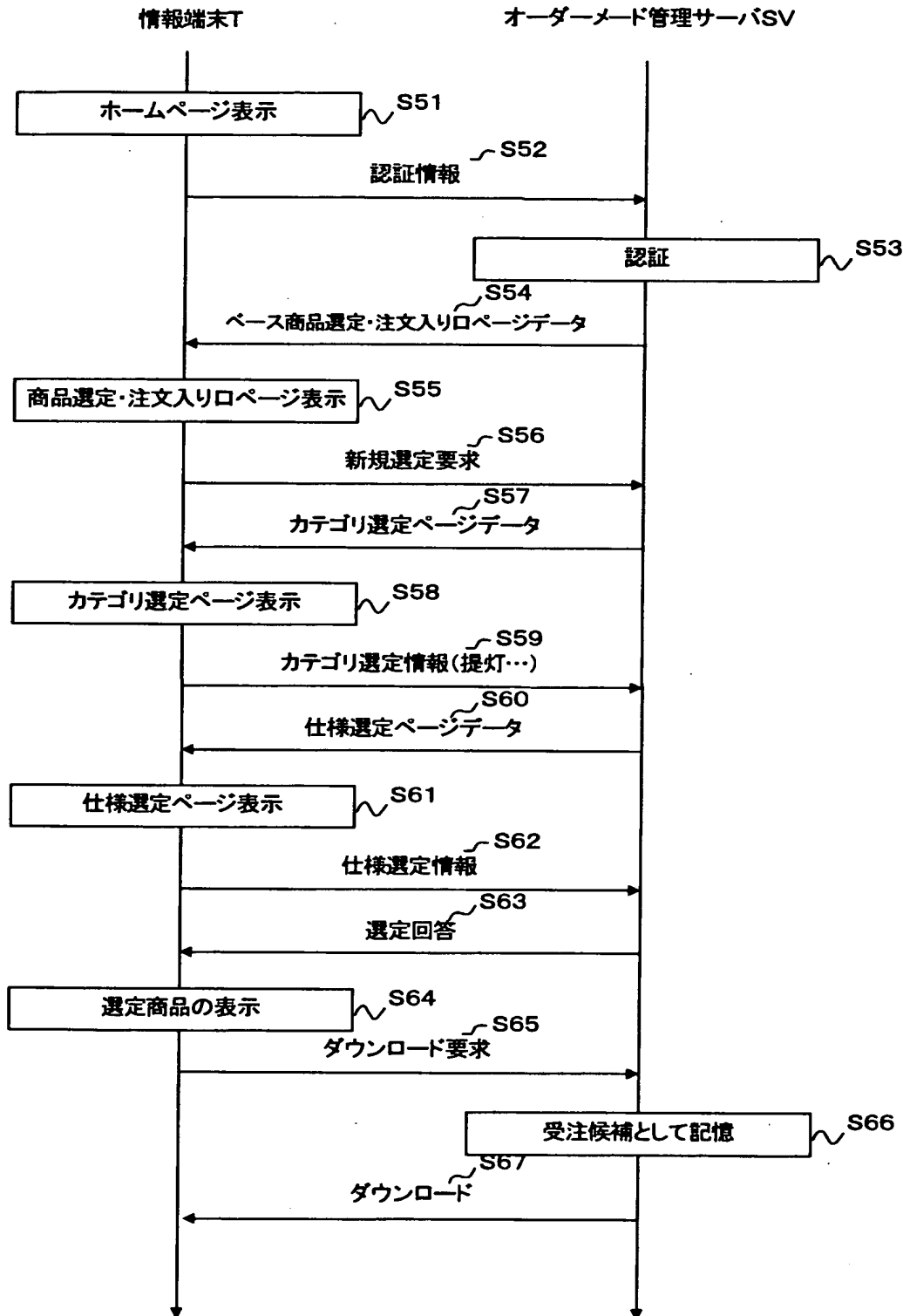
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 通信販売の手軽さと、広域対応、さらに電子商取引ならではの遠隔地対応の迅速さを生かしながら、少ない危険負担でオーダーメードを成立させられるオーダーメードシステムが望まれていた。

【解決手段】 顧客の望む商品仕様を当該顧客の情報端末 T と事業者側のオーダーメード管理サーバ S V との緊密な交信により、略対話形式で相互理解したデザイン仕様等の認識を共通にすべく、コンピュータグラフィックによる半完成の雛型画像に画像合成した意匠見本を前記情報端末 T にダウンロードさせ、その意匠見本に基づく受注契約の諾否確認手段を備えた。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500514100]

1. 変更年月日	2000年11月 7日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都台東区浅草二丁目2番地12号
氏 名	中川株式会社